

平成17年度養豚問題懇談会の開催について

1 趣 旨

- (1) 平成17年3月、「食料・農業・農村基本計画」、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」及び「家畜改良増殖目標」が策定・公表された。これらと並行し、今後一層の国際化への対応が求められる養豚における担い手のあり方、生産コスト低減方策、品質向上方策等について検討するため、生産者、消費者、流通関係者や学識経験者等からなる懇談会が開催され、「養豚問題懇談会報告書」が同年3月に取りまとめられたところである。
- (2) 今回の「食料・農業・農村基本計画」においては、食料自給率の向上が大きなポイントであり、その目標達成のため、
 - ①自給率向上に向けた重点課題を設定すること
 - ②関係者一体となって、関係者毎の自給率向上に向けた取組内容や目標を明示した「行動計画」の策定とその計画的な取組みを推進すること
 - ③行動計画の達成状況の検証を行い、その結果を翌年以降の「行動計画」へ反映させることにより、工程管理を適切に実施していくこととされている。
- (3) このような考え方は、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」にも取り入れられ、既に工程表及び主要作業スケジュールが公表されている。養豚についても、報告書で取りまとめられた今後の方策や目指すべき姿を実現させるためには、関係者の合意の下で「工程表」及び「行動計画」を策定し、関係者が一体となって計画的な取組を推進していく必要がある。
- (4) このようなことを踏まえ、養豚問題懇談会報告書の実現に向けた「工程表」及び「平成17年度行動計画」の策定及びその推進・検証等を行うため、今年度も引き続き、養豚問題懇談会を開催する。

2 懇談会の主要テーマ

- (1) 養豚問題懇談会報告書の具体化に向けた工程表及び平成17年度行動計画の策定
- (2) 養豚問題懇談会報告書の具体化に向けた平成17年度行動計画の検証
- (3) その他

3 懇談会の開催予定

年2～3回程度の開催を予定